江工	貝平杺口正	開計画 奶火、女王文下	並							14	1和04年02月03日						
計画の名	称 岡山県におけ	る港湾利用者にとって安全で使いやすい	港づくり計画(防災安全)	(重点)													
計画の期	画の期間 令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)										0						
交付対	象 岡山県								·								
		船舶の航行に支障が生じている水域施設	その機能性・安全性の向上を														
全体事	業費(百万円)	合計 (A+B+C+D)	891 A	891 B	0 C		0 D	0 効果促進	事業費の割合 C /(A + B + C	+D)	0 %						
				ātī	画の成果目標(定量的指	標)											
番号	定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標								
田勺									中間目標値	最終目標値							
								(R3当初)		(R7末)							
- I		送において、喫水調整のために積荷を濾			を0%から100%に向上さ	せる				1							
	対象施設(2施設)のうち、水深不足のため減載航行している施設の改良達成率(%)							0%	0% %								
									I	1							
		備考等		個別施設計画を含む -	国土強靱化を含む	一	(住自立圏を含む	- 連携中枢都市圏を含む	- 流域水循環計画を含む -	地域再生記	計画を含む -						

A 基幹事業		事業	地域	六八	直接		$\overline{}$	$\overline{}$	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/	□曲∜	去中世	c HH HH	(年度)	全体事業費	費用	hamilton at
甘松市兴 (上)	3E. 🗆				間接		種別 1	種別 2	· 1		港湾・地区名							個別施設計画
基幹事業 (大)	番号	種別	種別						(事業箇所)	(延長・面積等)	一 一	KU3	KU4 I	KO5 Li	KU6 KU1	7 (百万円)		策定状況
	-	備考	天肥りで	3 C C K C	トリ別付	される効果												
)开海市安 			fari.	T ₁₂₄ , L ₁₁ , E	± 147			T-14-15	Marine (F F) 3会洲	- 14 M L E - 17 40 000 0	四八洲 支白海		_				Т	(A. 1-1-1-4-
港湾事業	A02-001	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	重要	改良	泊地(- 5. 5)m浚渫	浚渫土量 V=40,000m3	岡山港 高島泊 地					396		策定済
	A02- 002	港湾	一般	岡山県	直接	岡山県	重要	改良	航路① (-5.5) m浚渫	浚渫土量 V=50,000m3	岡山港 岡山航	î 🔳				■ 495		策定済
	'	<u></u>	'								路			Ш				
		<u> </u>																
			$\overline{}$	\top	\top		\top	T			小計	\Box				891		\top
		 	$\overline{}$	$\overline{1}$			$\overline{}$	T	T		合計	\top				891	T	$\overline{}$
											Ни							
		<u> </u>										Ш	Ш	Ш				
		<u> </u>																
				T	$\overline{}$	$\overline{}$	$\overline{}$	\overline{T}	T			\top					T	<u> </u>
1		 															T	
ı	'	<u> </u>										Ш	لـــــا	ш				
1																		

1

案件番号:

事前評価チェックシート

計画の名称: 岡山県における港湾利用者にとって安全で使いやすい港づくり計画(防災安全) (重点)

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性	0
I. 目標の妥当性 2) 港湾計画と整合している	
I. 目標の妥当性 3)地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている	
II. 計画の効果・効率性 1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている	
2) 事業内容と指標・数値目標の整合性が確保されている II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標がわかりやすいものとなっている	0
	0
II. 計画の効果・効率性 4) 事業内容は計画の目標を達成する上で適切なものとなっている	0
II. 計画の効果・効率性 5)十分な事業効果が得られることが確認されている	0
II. 計画の効果・効率性 6)事業効果は数値・指標等を用いて客観的に示されている	0